



神の言葉の力

工藤篤子ワーシップ・
ミニストリーズ 代表

工藤 篤子



^{ことば}
初めに言があった。言は神と共にあった。
言は神であった。この言は初めに神と共にあった。
この言に命があった。

(ヨハネの福音書 1章 1,2,4 節、口語訳)

昨年9月、とても鮮明な夢を見ました。夢の中で、私はブラジルにおり、当地の友人がこう言いました。「工藤さん、あの道が近道なの。あそこから行きましょう」。見ると、それはそそり立つ崖のような丘に、上に向かってまっすぐに伸びる細い道でした。彼女に導かれるままに、重たい荷物を持ちながら、私は登っていきました。しかし、やっとの思いで頂上にたどり着いた時には、今までこんなに疲れたことはないというほど疲れ果てていました。そこで目が覚めたのです。

その夢があまりにも鮮明だったので、主に、あの夢は一体何の意味だったのでしょうか、と尋ねました。主は、その意味については何もお答えになりませんでした。一つのみ言葉をくださいました。

すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。(マタイ11:28、新改訳第三版)

ああ、そうなのだ、疲れた時、重い荷を負う時には、主のもとへ行き、そこで休ませていただければよいのだと思いました。

その翌日、妹が高熱を出しました。また、父が買い物帰りに転倒して救急車で搬送され、額を4針も縫う傷を負いました。しかし、前夜の夢を通して主からみ言葉をいただいていたので、慌てふためくことなく、イエス様の平安をいただきながら対応することができました。それから、妹と父は体調が不安定な状況が続きました。そして、医学的な知識に欠ける私がどうしてよいか分からなくなったとき、主はまたみ言葉を与えてくださったのです。

わたしに良い判断と知識とを教えてください。わたしはあ

なたの戒めを信じるからです。(詩篇119:66、口語訳)

このみ言葉のように祈ると、主は一つ一つに導きを与え、また、知識のある人を私のもとに送って、良い判断ができるよう助けてくださいました。

11月、父が、今度は高熱を出して入院、検査の結果、敗血症と診断されました。同じ頃、妹もメンタルバランスを崩して入院しました。そこで11、12月のコンサートは全てキャンセルしようと思い、主に祈りました。すると主は、以下のみ言葉をもってお答えになったのです。

だれでも、父、母、妻、子、兄弟、姉妹、さらに自分の命までも捨てて、わたしのもとに来るのでなければ、わたしの弟子となることはできない。(ルカ14:26、口語訳)

瞬時に、伝道コンサートは、福音を伝えるために、神が取り分けられた時、聖所、神への礼拝の時であることを悟りました。そこで、すべてのスケジュールを、札幌から往復しながら遂行することに決めました。その後、妹は症状が回復し、12月上旬に退院、その二日後に、父は一か月の闘病を終え、天の御国に凱旋しました。96歳と8か月の、感謝に溢れる地上の生涯でした。

目まぐるしい4か月でしたが、今回ほど、み言葉の力を体験したことはありませんでした。神の言葉には力があります。み言葉はいのちであり、そのみ言葉、そのいのちは、イエス様ご自身だからです。新しい年2024年、永遠のみ言葉、いのちのみ言葉をもっともっと深く体験させていただきながら、この素晴らしいみ言葉を、神への賛美と共に宣伝させていただきたいと思っています。

この手を組んで

～ノルウェーの心の賛美歌～



私は1984年に留学地のスペインで信仰に導かれました。その頃、ヨーロッパでは各国に日本人クリスチャンの集会・教会が誕生しており、私が信仰に導かれた年と同じ1984年の夏、ドイツ・ブッパータール近郊の村、ランゲンベルグで、「第1回ヨーロッパ・日本人キリスト者の集い」（以下「集い」とする）が開催されました。「主は一つ、信仰は一つ、バプテスマは一つ」（エペソ4:5）の主題のもと、ドイツ、フランス、オランダ、オーストリア、ノルウェーから60余名の参加者が集われたそうです。

私が「集い」に参加するようになったのは、2001年、パリ教会主催による、リヨンで行われた第18回大会からです。この頃にはすでに200人以上の参加者数になっていました。その最初の大会の分かち合いグループで、ノルウェーから参加されたアンデルセン雅子さんと一緒になりました。伝道スピリットにあふれた彼女とはすぐに意気投合、それからというもの、雅子さんは、帰国のたび毎に、私のコンサートに未信者の知人を連れてやって来るようになりました。そして2003年、雅子さんは、彼女が住むオスロの3つの教会でのコンサートを企画してくれたのです。

雅子さんは、ご主人のアンフィンと三人のお子さんと現地教会に集うかわら、ご自宅で日本人家庭集を開いていました。このアンデルセン家で過ごした数日を、今でも忘れることができません。アンデルセン家には、私の滞在中も、集いに集まる人々、相談に来る人、お料理を作る人と、来客が絶えませんでした。当時まだ十代だったお子さんたちも「アンデルセン・ファミリー宣教チーム」の同労者として、ご夫妻の働

きを助けていました。そして、週末になると家族会議が開かれ、賛美し、祈り、一週間の反省と次の週の伝道計画を立てるのでした。その姿を見て、何と祝されたクリスチャン・ファミリーなのだろうと、深い感動を覚えました。

オスロでのコンサートでは、雅子さんからの依頼で、ノルウェー語と日本語で賛美しました。心に染み入るこの歌は、以来、私の愛唱歌のひとつとなりました。

この手を組んで

原題：Det er makt i de foldede hender
(組んだ手には力がある)

作詞：Trygve Bjerkrheim
日本語歌詞：永田 令、
クリスティン・ヴェッゲ

1. 私の小さな手は 何もできないけれど
この手を組んで祈るとき 神の御手が動く
応えは必ずやってくる 神の時が来れば
「わたしがあなたを助ける」と 主の約束があるから
2. 愛する人のために 傷ついた友のために
泣きながら叫びながら 祈る日もあるけど
応えは必ずやってくる 神の時が来れば
「わたしがあなたを助ける」と 主の約束があるから
3. 主イエスの御名によって 祈りは聞かれている
いつの日か天国で すべて分かるだろう
応えは必ずやってくる 神の時が来れば
「わたしがあなたを助ける」と 主の約束があるから

工藤篤子 賛美CD 好評発売中 … ご注文、お問い合わせはAKWMホームページまたは事務局まで

「主よ人の望みの喜びよ」「マタイ受難曲アリア」「メサイヤ・アリア」「キリストにはかえられません」「アメイジング・グレイス」「主の祈り」など、たましいの歌 12 曲。

主よ人の望みの喜びよ
定価 1,500円 (税込)

ボンヘッファーの「よき力に守られて」を中心に、「あなたに」「神の恵み」「詩篇 23 篇」「あ感謝せん」など 14 曲。

よき力に守られて
定価 2,500円 (税込)

リュート奏者、今村泰典氏の賛美曲、バッハ、カステッロ、シュッツの作品、「キリストには代えられません」「いつくしみ深き」など 22 曲。

ほんとうの願い
定価 3,000円 (税込)

「安けさは川のごとく」「赤とんぼ」「荒城の月」「黄金のエルサレム」「私を平和の道具としてください」などライブ録音 12 曲。

神だけが Dios tan solo Dios
定価 2,500円 (税込)

「きみは愛されるため生まれた」とこしえに真実なお方「救い主イエスと」「なんて美しい都」「なんでもうたう」などライブ録音 14 曲。

カンシオン Canción
定価 2,500円 (税込)

「鹿のように」「安けさは川のごとく」「Via Dolorosa」「輝く日を仰ぐとき」「カドシュ」「いちわのすずめ」「アメイジング・グレイス」など 18 曲。

Come To Me
定価 3,000円 (税込)

中国語、台湾語賛美を中心とした「鹿のように」「丘に立てる荒削りの」「主は今生きておられる」「耶和華祝福満満」「主よ人の望みの喜びよ」「鳥のうた」など 12 曲。

讚美 Adorar
定価 1,500円 (税込)



その雅子さんが、2004年の夏、自転車から転倒し、頭を強く打って意識不明に陥ったのです。ノルウェー、日本を始め、世界各地から、彼女のために切なる祈りが捧げられました。しかしその10日後、愛する雅子さんは天のお父様のもとへ帰って行かれました。あんなに心から主に仕えていた、いわゆる働き盛りの彼女を、そしていつも私や多くの人々の働きを助け励ましてくれた大切な友を、主はどうしてこんなにもあっけなく私たちから引き離し、ご自分のみ腕の中に抱き隠されてしまわれたのか、私には理解することができませんでした。

けれども、私は、この時から、「この手を組んで」の3節の歌詞を、深い確信をもって賛美するようになりました。一切の権威を持っておられる主が、確かに私たちの祈りを聞いてくださり、その祈りに、ご自身のお応えをくださったのだということ、理解を超えたところで受け止めることができたのです。それが私たちの願い通りではなくとも、「主よ、私たちには理解することができません。でも、主よ、あなたを信頼します。」と告白して主に従ってゆくなら、主は私たちの「従順」という捧げものを喜んで受け取ってくださいます。そして、ご自身の栄光を表してくださることを知るようになりました。ですから、いつの日か天国ですべてが分かるその時まで、すべてを信じ、すべてを期待し、すべてを耐え忍びつつ、絶えることのない主の愛の中で、この手を組んで祈り続ける者でありたいと思っています。



作詞者：ビェルクハイム
Trygve Bjerkrheim (1904-2001)

ビェルクハイム師は、1904年、ノルウェーのロガランドの敬虔なクリスチャン家庭に生ま

れました。オス口の神学校を主席で卒業し、1931年にはフェルハウグ聖書学院及び神学校（ノルウェー・ルーテル伝道会NLMの学校）の教授に就任。NLM新聞の編集長を務めたこともあり、現在20カ国語で世界に福音を届けているNLMラジオ局「ノリアーラジオ」の生みの親の一人です。ビェルクハイム師は、NLMが日本に開校した神戸ルーテル神学校で一年間ほど教鞭を執っていた時期もあります。彼は97年の生涯の間、15000～16000もの賛美歌を作詞しました。彼は毎日一節以上の詩を書いたと言われていています。その多くは、師ご自身によって捨てられてしまったようですが、神を想い、賛美し、証しする詩（歌）に、神様は、毎日喜びをもってその耳と目を注いでくださっていたことでしょうか。ビェルクハイム師は心優しい人で、優しい声で優しい言葉を語り、その口調はまるで詩篇の朗読を聞いているようであったそうです。

「この手を組んで」は、中国から帰国した宣教師が「世界で一番大きな力を持っているのはアメリカでも中国でもロシアでもない。手を組んで祈る人だ。」と語った言葉がビェルクハイム師の心に深く残り、この詩が生まれたそうです。最初は2節までしかなかったのが、ある日、救世軍の責任者から「まだ救われていない子供たちのために祈っている親がたくさんいます。彼らのために3節を書いてくださいませんか。」と言われ、「主イエスの御名によって祈りは聞かれている」の詩が生まれました。「この手を組んで」は、一般の歌手も歌うほど有名になり、ノルウェーの心の賛美歌になりました。

日本語歌詞は、姫路福音ルーテル教会の永田令牧師が、1996年にノルウェーの青年キャンプに招かれた際、この賛美歌を聞いて感動し、ノルウェー人宣教師に翻訳してもらったものからメロディーに合わせて歌えるようにと日本語に訳したものです。

賛美セミナーDVD CDも好評発売中



賛美セミナーII
DVD 2枚組

2015年11月7日大阪セミナー録画
(テキスト付)
定価 4,000円(税込)

1. 詩篇から学ぶ賛美
2. 賛美のいけにえ・キリストの賛美
3. ロックの起源・歴史とその影響
4. いろいろなるリズムとことばに即した賛美実演 (野田常喜)



賛美セミナーI
DVD 2枚組

2013年11月4日大阪セミナー録画
(テキスト付)
定価 4,000円(税込)



賛美セミナーI
CD 4枚組

2013年11月9日東京セミナー録音
(テキスト付)
定価 4,000円(税込)

1. 賛美とは
2. 詩篇 51, 50 (悔い改めを通してささげる賛美)
3. ビート音楽の影響
4. 音楽と聖書

※内容はDVD CD共に同じです。

賛美セミナーIIと賛美セミナーIのアイテムを併せてご注文される場合、特別価格でお求めいただけます。

お知らせ

「賛美セミナー」開催をご希望、あるいはご検討いただける教会・団体がございましたら、お気軽に事務局まで、ご連絡、ご相談ください。

5月 May.

21日(火) 10:00~13:00 第57回 高松レディス・ランチョン
会場：高松国際ホテル

10月 Oct.

27日(日) 15:00~ 宝塚栄光教会チャペル・コンサート

主にあって愛する皆さま

● 寒中お見舞い申し上げます

いつもAKWMのためにお祈りいただき、ありがとうございます。今年もよろしくお祈りいたします。

去年は、11月末に善通寺バプテスト教会（香川県善通寺市）、12月には札幌聖書キリスト教会、虹ヶ丘キリスト教会（山口県光市）、ゴスペルライト宇部キリスト教会（山口県宇部市）、流山福音自由教会（千葉県流山市）でコンサートをさせていただきました。父と妹の入院や、12月には父の葬儀が重なり、大変な時期でした。しかし、皆様のお祈りに大いに支えられ、いつものコンサートに増して聖霊の力が注がれた時となりました。お祈りに、心から感謝いたします。コンサートを通して、明確な信仰の表明をされた方もいらっしゃいました。主がその方の主にある歩みを確かなものにしていただきますようお祈りください。



札幌聖書キリスト教会クリスマスコンサート

リスト教会で執り行われた葬儀は、素晴らしい伝道集会となりました。お祈りをありがとうございました。

● 能登半島地震お見舞い申し上げます

1月1日、札幌の実家で、妹、クリスチャンの友人と三人で幸いなお正月を過ごしていましたら、夕方、友人の携帯に「大地震が起きて山に向かって逃げている。祈って！」という、知人からのメッセージが入りました。急いでテレビを付けると、どのチャンネルも能登半島地震について報じており、大きな衝撃を受けました。被災された皆様に、今日も必要な助けが届きますように！また、このことを通して、一人でも多くの方が主を知り、神様の救いと助けを受けることができますよう祈っています。

● 賛美レッスンの再開

1月は、約3か月ぶりに大阪での賛美レッスンを再開することができました。受講された方々は、色々な奉仕、活動をされています。それぞれ教会の賛美奉仕、またコンサートやインターネットを通しての賛美伝道など。個人、またグループで歌う方々は、とても熱心に練習に励んでおられますので、その姿を見て、とても嬉しく思いました。

今後の予定ですが、札幌に住む知的障害者の妹と月2回の週末を共に過ごすため、これまで通り札幌と大阪を往復する予定です。

皆様にお会いできます機会を楽しみにしております。

今年も主の豊かな恵みと祝福がありますように！

工藤篤子



● 父の葬儀

昨年お祈りいただきました父は、12月6日、96歳と8か月の地上の生涯を終え、天の御国に凱旋しました。父は、年老いても心は万年青年のように若々しく、いつも明るく前向きな人でした。父が生まれ育った白滝村では貧

困をなめ、戦争や病で何度か死に直面する経験を経ながらも、素晴らしい人生を送ることができたといつも感謝していました。私は、その父の姿勢から、感謝とは、取り巻く環境や状況によるものではなく、その人の心の在り方によることを学びました。12月12日に札幌聖書キ



工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ 事務局

Atsuko Kudo Worship Ministries

AKWMの伝道活動は、皆様のお祈りと献金とご奉仕によって成り立っています。ご支援くださる皆様をこの活動の一員と考えています。この活動がますます主に用いられ、宣教が進みますように、どうぞ一員としてご参加、ご支援ください。

事務局

〒590-0027 大阪府堺市堺区榎元町5丁5番9号
TEL.090-5241-5086 FAX.050-3153-0648

郵便振替口座 00930-1-165955 「工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ」

銀行振込口座 三菱UFJ銀行 瓦町支店(店番003)

普通預金0133752 「工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ」

※三菱UFJ銀行にお振り込みくださる場合はお名前を表示をお願いいたします。また、事務局にご連絡いただけますなら感謝です。



メールマガジン登録受付中！

office@akworship.com

メルマガ購読を希望される方や、その他のご連絡などは、上記のメールアドレスまでお願いします。

メールマガジン、ニュースレターは、下記のホームページでもご覧いただけます。



Website URL

https://akworship.com/

※URLが変わりました。ブックマークの変更をお願いします。